

5. 災害対応について

- (1) 災害医療協力病院としての役割 P 2～
- (2) 災害拠点病院と災害医療協力病院の連携体制構築
に向けた取組み P 11
- (3) 局地型災害時における災害医療協力病院の対応
P 12～
- (4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応
P 17～

(1) 災害医療協力病院としての役割

ア 災害医療協力病院とは

災害時に、災害拠点病院や市町村災害医療センター等と協力し、主に入院を要する中等症患者を受け入れる救急告示医療機関（二次）

【災害時における対応】

主に入院を要する中等症患者を受け入れ、「大阪府救急・災害医療情報システム」に自院の被災状況（倒壊可能性の有無やライフラインの状況等）や応需状況（患者の受入可能数）等の入力

【その他】

- ・ システム入力訓練や各圏域で実施される研修等への参加
- ・ 「耐震改修状況調査」、「業務継続計画（BCP）の策定状況等調査」等の各種調査（年数回／年度により変動あり）

**救急告示医療機関（二次）として認定されると
「災害医療協力病院」として位置付けられます。**

(1) 災害医療協力病院としての役割

イ 災害医療協力病院の位置付け

【大阪府地域防災計画】

災害医療協力病院は災害拠点病院及び市町村災害医療センター等と協力し、患者の受入れを行う。

【第8次大阪府医療計画】

すべての救急告示医療機関が災害医療協力病院として、災害拠点病院とともに災害医療を支える重要な役割を担う病院として、災害時に多くの発生が予想される中等症患者を中心に積極的に受入れを行う。また災害拠点病院からの要請がある場合は、率先して当該患者を受入れる。

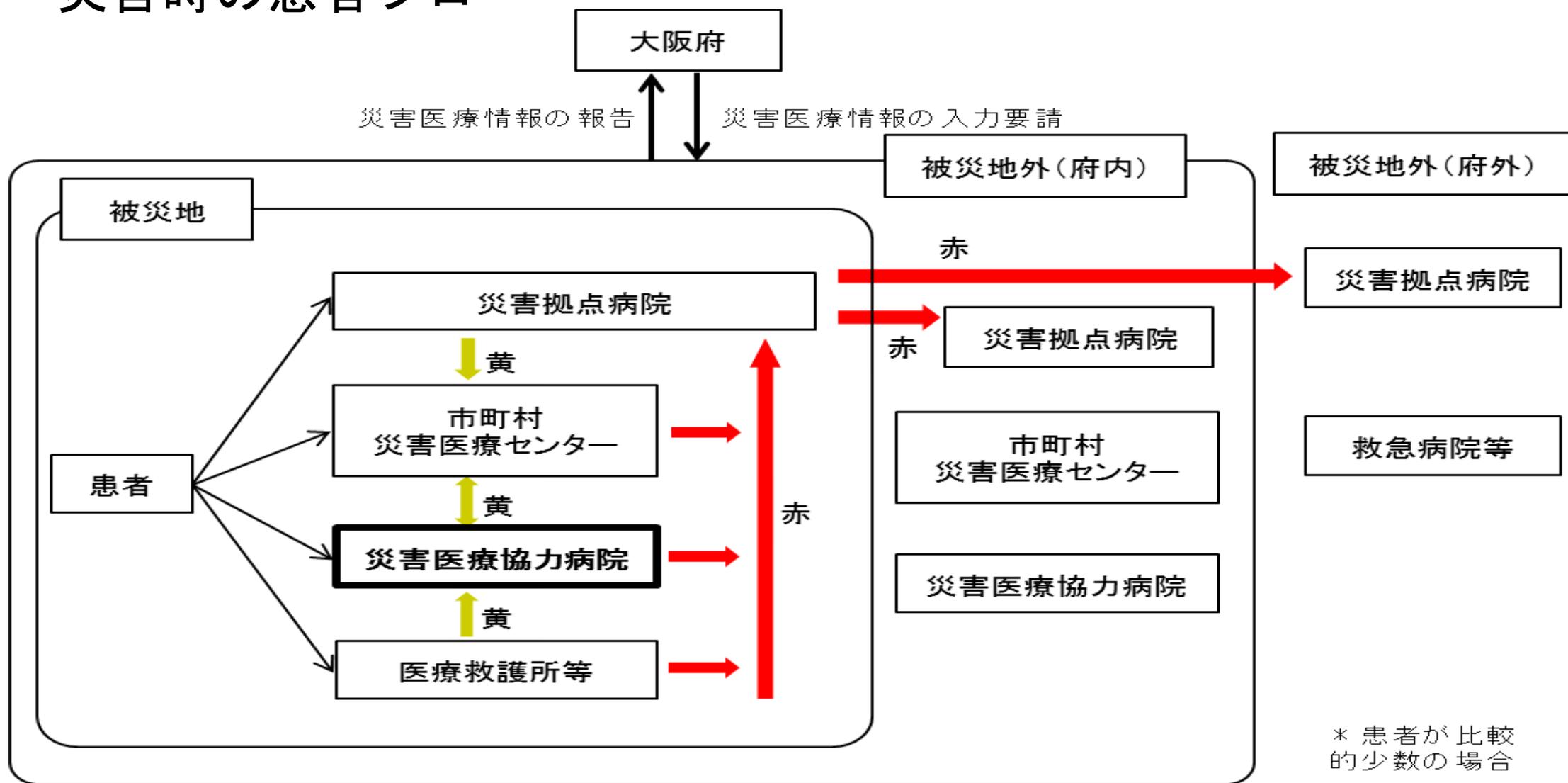
【大阪府災害時医療救護活動マニュアル】

大阪府ホームページを参照してください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/saigaiiryo/>

(1) 災害医療協力病院としての役割

ウ 災害時の患者フロー



(1) 災害医療協力病院としての役割

エ 災害対応のための準備

平成30年 6月 大阪府北部地震

7月 7月豪雨（西日本豪雨）

9月 台風第21号・北海道胆振東部地震

令和元年 9月 房総半島台風（台風第15号）

10月 東日本台風（台風第19号）

浸水や停電、断水が発生し、患者搬送が必要となった。



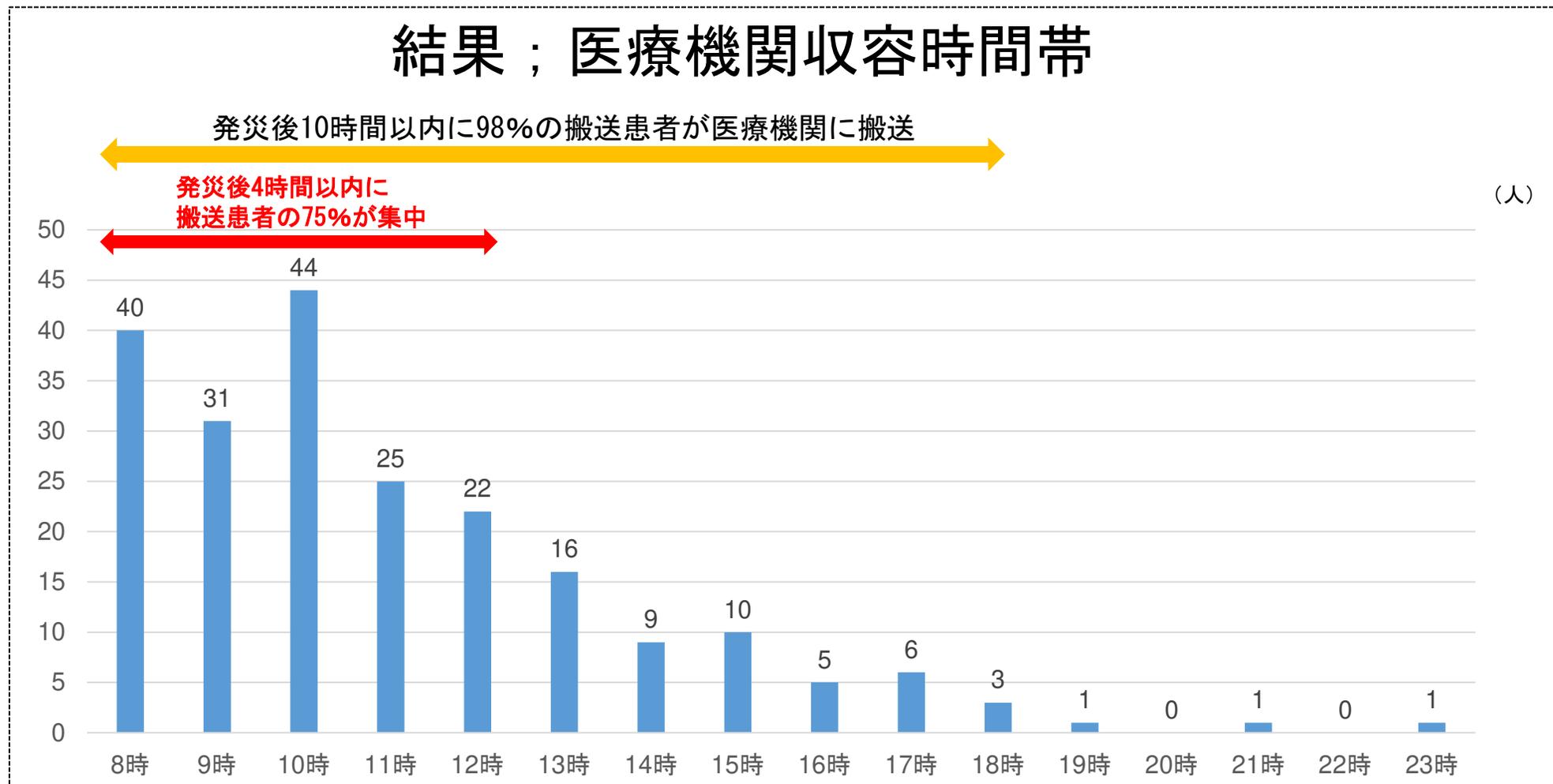
災害医療協力病院として、自院の病院機能を維持・継続したうえで、被災患者（中等症患者）の受け入れを実施するためには、

- * 被害を抑えるため、**BCP（業務継続計画）の策定**
- * 激甚化する風水害や大規模地震等への**対策**
- * 迅速に対応できるよう**災害訓練の実施、参加**

自助による取組みが重要

(1) 災害医療協力病院としての役割

オ 【参考】大阪府北部地震における搬送患者対応状況について



出典：ORIONデータを用いた大阪北部地震（2018年6月18日発災）での患者実態調査

(1) 災害医療協力病院としての役割

力 第8次大阪府医療計画における各目標値 (2024 (令和6) 年度から2029 (令和11) 年度)

目標値一覧

分類 B:目標	指標	対象 年齢	現 状		目 標 値	
			値	出典	2026 年度 (中間年)	2029 年度 (最終年)
B	病院の耐震化率	—	全体 71.9% [救急 74.2%] 全体全国 79.5% (令和4年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	全体 75%以上 [救急 80%以上]	全体 全国値以上 [救急 90%以上]
B	病院の非常用 自家発電設備設置率	—	全体 85.8% [救急 92.7%] (令和4年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	全体 90%以上 [救急 95%以上]	全体 95%以上 [救急 97%以上]
B	(百年に一度程度の大雨 における)浸水想定区域 に所在する病院の 浸水対策率	—	全体 24.8% [救急 24.5%] (令和5年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	全体 50%以上 [救急 55%以上]	全体 70%以上 [救急 75%以上]
B	病院のBCP策定率	—	全体 45.5% [救急 55.1%] (令和4年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	全体 80%以上 [救急 100%]	全体 90%以上 [救急 100%]
B	DMATのチーム数	—	76 チーム (令和4年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	108 チーム	108 チーム
B	災害医療訓練の回数	—	1回 (令和4年度)	大阪府「医療 対策課調べ」	毎年1回以上	毎年1回以上

病院への支援



各目標値の最終年まであと4年。まずは中間目標を必ず達成させるため、
各災害対策について取組みを加速させる必要 → 来年度事業の新規拡充

(1) 災害医療協力病院としての役割

キ 耐震化等 国補助事業（医療提供体制施設整備交付金）の概要

耐震化及び設備整備

対象項目	基準額
耐震補強	(1) 補強が必要と認められるもの 基準面積 2,300平方メートル×51,300円
	(2) Is値が0.4未満の建物を有する病院 基準面積 2,300平方メートル×243,800円
非常用自家発電設備	医療機関当たり <u>174,094千円</u>
受水槽	医療機関当たり <u>160,434千円</u>
給水設備	医療機関当たり <u>75,443千円</u>
燃料タンク	医療機関当たり <u>34,791千円</u>

浸水対策

対象項目	基準額	
医療用設備	想定浸水深または 基準水位以上への 移設が必要と認め られるもの	医療機関当たり <u>49,130千円</u>
電源設備		医療機関当たり <u>38,769千円</u>
止水板	設置が必要と 認められるもの	医療機関当たり <u>466千円</u>
排水ポンプ 及び雨水貯留槽		医療機関当たり <u>26,894千円</u>

※予算の範囲内で執行のため内示率は毎年変わります。基準額等は令和6年度のもので、毎年変わります。詳細は交付要綱を確認ください。
なお、国からの内示後に着工することが条件です。

【補助額の算定】（参考）

補助額

=

基準額(補助上限)と
実際の工事費を比較し低い方

×

調整率

×

内示率

- ・令和7年度:希望調査は受付終了
- ・令和8年度:国予算の状況によるため、現時点では未定
- ・申請多数の場合等、希望どおりの金額が内示されない場合があります

希望調査への申請漏れや申請後の辞退がないよう、十分な事前計画をお願いします。

(1) 災害医療協力病院としての役割

ク さらなる耐震化に向けて

能登半島地震の検証



被災時の病院自体の避難のデメリット（高齢者等の心身の負担・地域での医療機能の消失）・籠城対応の必要性が再認識

医療計画の目標値
達成に向けて



【令和8年度 耐震化率80%】に向けて計画的に進めていく必要があるが、
まだ耐震診断ができていない病院は、まずは耐震診断の実施が急務。

R7年度の
取組み予定

耐震診断の実施に係る**経費**を**補助**できるよう、
令和7年度当初予算に要求中

救急告示病院約280病院のうち、
耐震診断が未診断は36病院

全救急告示病院における耐震診断の完遂を目指し、
病院が実施する耐震診断にかかる一部経費を補助します。

**耐震化は災害対策の要であり、未だ耐震診断が未実施の病院は、
本補助金を活用し、耐震診断の完了をお願いします。**

(1) 災害医療協力病院としての役割

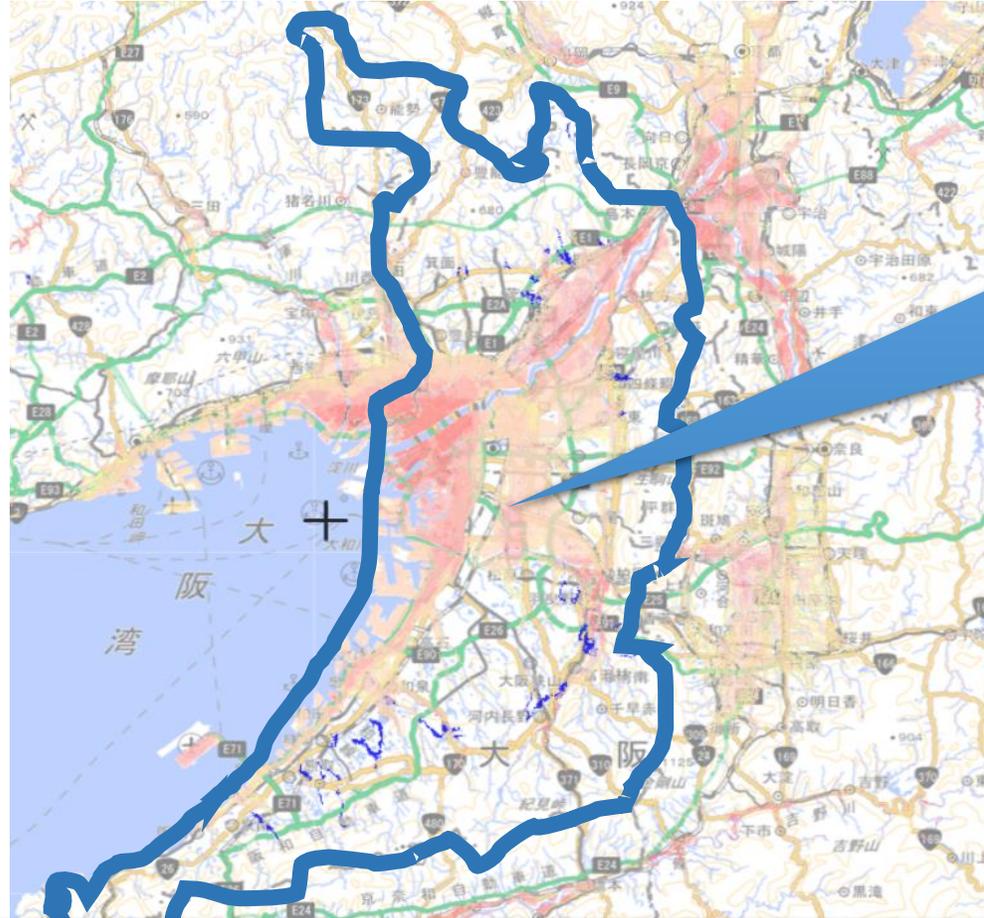
サ 自分の病院はほんとうに浸水想定区域外？



洪水・内水氾濫



高潮



洪水・内水氾濫及び高潮の浸水
想定区域について、リスクの高さに
よって異なる色で表示される
重ねるハザードマップ
※市町村のハザードマップと併せて
ご確認ください。

ご自身の病院の住所で
検索可能なので簡単に
浸水想定区域かどうかわかります

【出典】

■国土交通省・国土地理院の『重ねるハザードマップ』
災害リスク情報や防災に役立つ情報を、
全国どこでも重ねて閲覧できるWeb地図サイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

自院が浸水想定区域か否かを確認するとともに、
浸水対策が完了しているか再度ご確認ください。

(1) 災害医療協力病院としての役割

ケ 大阪府医療機関浸水対策事業費補助金について

補助制度概要

補助対象：大雨による洪水、内水氾濫、高潮による浸水想定区域内の病院

対象項目	基準額	対象経費	補助率及び補助額
(1) 止水板 (2) 止水シート (3) その他、 浸水対策に資するものとして 知事が認めるもの	600千円	止水板等の資材の購入費 (設置に係る工事費は除く)	補助率：1/2 補助額：上限300千円

基準額（600千円）と資材購入費のどちらか低い額に補助率（2分の1）を乗じ、上限300千円までを補助

- ・府内病院浸水対策率は約25%（令和5年度調査）と他の災害対策率に比べてもかなり低位
- ・令和6年度の補助制度利用は58病院、補助制度は令和7年度で終了予定

浸水対策に幅広く活用できる補助制度であり、未対策の病院も数多くあることから、補助制度を活用できる令和7年度中に対策を完了していただくようお願いします。

(1) 災害医療協力病院としての役割

コ BCP策定 これまでの取り組み

病院における
BCP（業務継続計画）
とは？

災害時においても病院が医療サービスを継続し、スタッフと患者の安全を確保するために**不可欠な計画書**のこと。

H 2 4 年 3 月	全国の病院にBCP策定の努力義務 ※東日本大震災で医療機関が機能不全に陥ったことが契機
H 3 0 年 3 月	災害拠点病院の指定要件としてBCP策定義務づけ ※熊本地震での課題を反映
R 6 年 1 月	多角的な視点でのBCP策定と継続的な見直しの必要性が再認識

令和6年度は、BCP策定と併せて
浸水対策に関する研修会を実施
(のべ204病院264名参加)

第1回研修会 (基礎編)	<ul style="list-style-type: none"> ・BCP策定の重要性や意義等について ・実例等を踏まえた浸水対策の考え方について
第2回研修会 (応用編)	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPのひな形を基にした策定手順 ・過去に浸水被害に遭い対策強化に取り組む病院の実例 ・止水板の特徴や効果などについて

■研修会に参加できなかった病院は、府ホームページに研修会の動画及び資料を掲載していますので、ぜひご確認ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100030/iryo/saigaiiryo/shinsuitaisakukensyuu.html>

■BCP策定のひな形（データ）を希望の場合は、大阪府行政オンラインシステムから申請してください。

<https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/dcc5a185-3ce1-4f7e-a20f-1c57c1d162ef/start>

【参考】 ■令和6年度国研修会 研修資料掲載（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/kenkyu_00001.html

令和6年度に実施した研修の動画・資料は府HPに公開中。
BCPのひな形提供を希望する場合は行政オンラインシステムより申請してください。

(1) 災害医療協力病院としての役割

シ BCP策定 これからの取組み (案)

研修会に参加した
病院からの声

➡ 病院個別状況に合わせた策定支援や、専門家による策定後の見直し等の第三者評価を求める多数の声

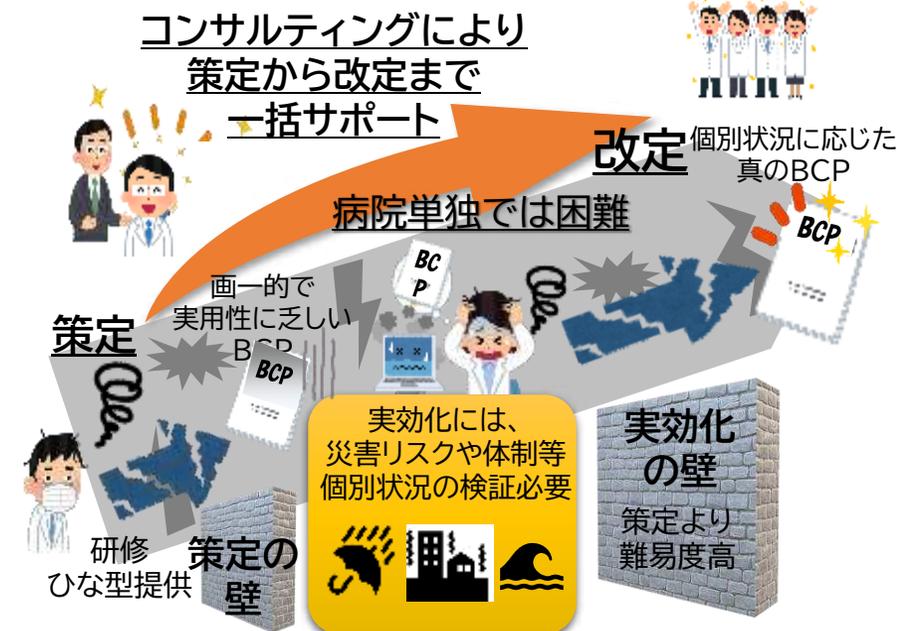
能登半島地震の
検証

➡ BCP策定後も継続的に見直しや訓練を繰り返していた病院が素早い災害復旧を実現

R7年度の
取組み予定

BCPの**策定**または**改定**に係る
コンサルティング経費を補助できるよう、
令和7年度当初予算に**要求中**

継続的なBCP見直しを促すため、
専門家によるコンサルティングを活用した
病院のBCP策定または改定にかかる費用を一部補助



「策定」と「実効化」の2つの壁が存在

研修等で病院から要望が多かった外部コンサルタントを活用し、
BCPの実効性高めるための、策定・訓練・見直し等を行ってください。

(1) 災害医療協力病院としての役割

ス 「病院の耐震改修状況」及び「医療施設の浸水対策等」の国調査について

例年実施している「病院の耐震改修状況」及び「医療施設の浸水対策等」の実態把握について、今年度はG-MISの汎用調査を活用し実施されます。

①回答方法	G-MISにログインのうえ、トップページの「各種調査・報告」ボタンから回答
②調査対象	令和6年11月22日現在における各都道府県管下の全ての病院及び有床診療所
③回答期限	令和7年2月14日(金)

※ 令和7年1月6日(月)にGMIS事務局から対象医療機関へメールにて御連絡がいきます
(GMISアカウントとして登録されているメールアドレス宛)

**災害時に病院が必要な支援を迅速かつ適切に受けられるよう、
正確な情報をよくご確認のうえ、必ず期限内に回答してください。**

(2) 災害拠点病院と災害医療協力病院の連携体制構築に向けた取り組み

各病院の連携体制構築に向けた取り組み

【救急告示医療機関（二次）の災害訓練の実施状況】（平成30年9月現在調査）

平成30年度実施済 42.6%（110／258：回答のあった医療機関数）

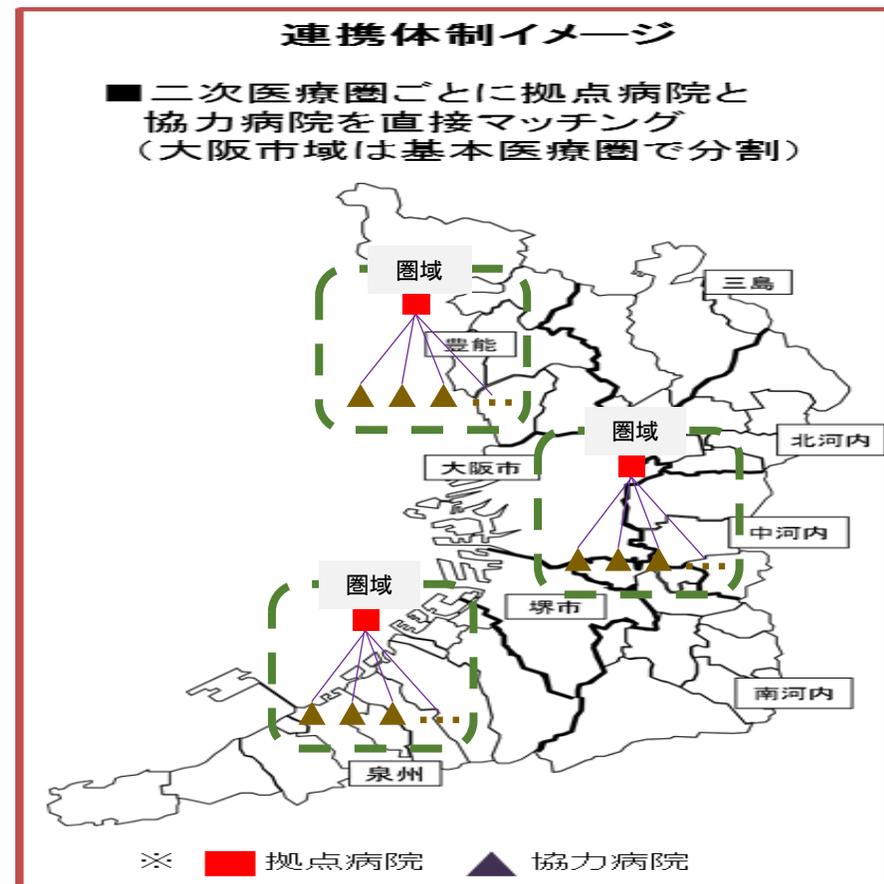
平成30年度以降実施予定 47.7%（123／258：同上）

災害時の対応は、1医療機関だけで完結できるものではないため、日ごろから地域単位での取り組みや医療体制の構築が重要

研修や訓練を実施し、参加することのメリット

- ・ 近隣病院間でのコミュニティを形成可能
- ・ 「顔の見える関係」を構築可能
- ・ 新たな知識を享受可能

研修等参加後は、御担当者の方だけでなく、院内で研修内容を共有していただきますようお願いします。



(3) 局地型災害時における災害医療協力病院の対応

ア 局地型災害の特徴

多数の負傷者が局地的に発生する事件・事故

【例】 放火事件や列車事故、
航空機事故、バスの横転事故 等

⇒ 大阪府では「**エリア災害**」と呼んでいます。

消防

事故の覚知は消防機関によりなされる

- 災害の「スイッチを入れる」のは消防機関
- 救急車は限られた資源、災害には応援要請の情報発信が重要
- 多数発生した負傷者を効率的に搬送し、迅速な根本治療開始を目指す

医療

局地型災害の場合は被害を受けていないと想定されるため

- 災害に対して、患者受入体制、DMATの派遣準備
- 医療機関の受入可能患者数の情報発信が重要

医療と消防の情報発信・収集ツールとして、大阪府救急・災害医療情報システム
による「**エリア災害登録**」を活用

(3) 局地型災害時における災害医療協力病院の対応

イ 大阪府救急・災害医療情報システム

* 局地型災害発生時：エリア災害登録

選択したエリアの災害医療協力病院（救急告示医療機関）が患者受入状況を入力し、消防機関の患者搬送に役立てる。

* 大規模災害発生時：災害モード切替

医療機関が一斉に被害状況や患者の受入状況等を入力し、医療支援活動に役立てる。

(3) 局地型災害時における災害医療協力病院の対応

イ 大阪府救急・災害医療情報システム

局地型災害発生時：大阪府救急・災害医療情報システムから、消防機関がエリア災害登録を行う。

(※ 登録権限は大阪府医療対策課と災害拠点病院にも付与されている。)

災害医療協力病院（救急告示医療機関）に対し、患者の受入可否の入力を要請

ポップアップ画面



メッセージを受信しました

<送信日時> 2024 /03/03 13:53

<現在日時> 2024 /03/03 13:54

<送信元> ○○消防本部

○○高速で多重衝突事故が発生しました。応需可能機関は入力をお願いします。

0分経過

入力

局地災害時には災害医療協力病院（救急告示医療機関）に設置した配付端末（大阪府救急・災害医療情報システム）からアラーム音が鳴る。

(※ ORIONシステムの画面や最小化でも鳴るが、10分間ポップアップ画面のボタンを押下しないと、補完FAXが送付される。)

(3) 局地型災害時における災害医療協力病院の対応

イ 大阪府救急・災害医療情報システム

表示画面例（医療機関画面・**状況報告**）

局地型災害発生時：エリア災害登録

情報共有のみ（入力項目なし）

要請No [REDACTED]	概要	[REDACTED]		
	発生日時	2020/7/30 8:08		
	要請日時	2020/7/30 8:06		
	発生場所	北区		
	連絡地域	大阪北		
対象：2次、災害拠点病院	レベル	状況報告		
	DMAT要請	無	DMAT要請隊数	
	災害状況	訓練 [REDACTED] 第1報 状況報告		
	登録者情報	氏名	〇〇	連絡先
エリア災害 状況確認	連絡事項	第1報、確認しました。		
	確認日時	未確認		

確認後クリック

「状況報告」と「受入要請」の2種類がありますが、**「状況報告」の場合、入力項目は表示されません。**

レベルが「状況報告」の場合は、局地的な災害が発生しているという情報の共有が主目的となり、エリア災害登録をした機関は**「受入要請」をしていませんので、この時点では「受入可能患者数」の入力はできません。**

(3) 局地型災害時における災害医療協力病院の対応

イ 大阪府救急・災害医療情報システム

表示画面例（医療機関画面・受入要請）

局地型災害発生時：エリア災害登録 受入可能な情報について入力

要請No [REDACTED]	概要	[REDACTED]		
	発生日時	2020/7/30 8:08		
	要請日時	2020/7/30 9:47		
	発生場所	北区		
	連絡地域	大阪北		
対象：2次、災害 拠点病院	レベル	受入要請		
	DMAT要請	無	DMAT要請隊数	
	災害状況	訓練 第2報、受入要請		
	登録者情報	氏名	〇〇	連絡先
エリア災害 受入可否	受入可否	受入可能患者数		
		重症	中等症	軽症
	<input checked="" type="radio"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>
連絡事項	第2報、受入人数を回答します。			
入力日時	未入力			

「状況報告」と「受入要請」の2種類がありますが、「受入要請」の場合のみ、入力項目が表示されます。

受入可能人数を入力
(必要に応じて入力)

入力後クリック

○：患者受入可能
△：救急隊と相談して決める
×：患者受入不可

受入条件を記載する等、連絡事項欄を有効に使用
(記載内容に制限はない)

入力後は「入力後クリック」ボタンで情報を更新してください。
入力後に、内容を変更する場合は、再度入力し、「入力後クリック」ボタンで更新してください。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

ア 広域災害の特徴

広範囲に被害が及ぶ大規模な災害
【例】地震や風水害等の自然災害 等

⇔ 隣接市町村や大阪府内で対応しきれない
⇒ 府県を越えた対応が必要

医療

医療機関自体が被災する可能性

- 非常に多くの負傷者が発生することで、多数の負傷者が来院する
- ライフラインに被害が発生すると、通常の医療が提供できない
- 職員が参集できない等、人的資源も不足する
- 様々な問題が同時多発的に発生する
- 自院の状況（被災の有無やその程度）を情報発信することが重要

保健医療調整本部を設置し災害対応

- 広範囲の被害状況をまとめる
- 1医療機関での完結は困難になるため、医療圏全体や府域全体での対応を考える必要があるため国や他府県、他機関と連携し、SOSへの対応を行う
- 一人でも多くの「いのち」を救うため、避け得た災害死をなくす

大阪府

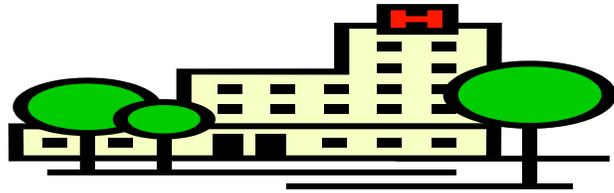
広域災害時における情報発信・収集ツールとして、大阪府救急・災害医療情報システムが「災害モード運用」される

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

イ 災害時のSOS発信の必要性

災害時は平時とは異なる様々な問題が発生する

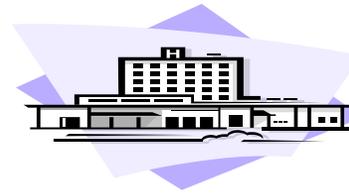
建物が倒壊しています!!



重症患者が大勢います!

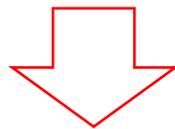


医薬品が
足りません!



一方で、サポートする大阪府では「どこに」「どのようなサポート」が必要か、情報がなければわからない

医療機関の被災状況を収集しなければサポートが出来ない



被災医療機関 → SOSを発信し訴える事が必要!

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

ウ 大阪府救急・災害医療情報システム

* 局地型災害発生時：エリア災害登録

選択したエリアの災害医療協力病院（救急告示医療機関）が患者受入状況を入力し、消防機関の患者搬送に役立てる。

* 大規模災害発生時：災害モード切替

医療機関が一斉に被害状況や患者の受入状況等を入力し、医療支援活動に役立てる。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

ウ 大阪府救急・災害医療情報システム

表示画面例

大阪府救急・災害医療情報システム
{訓練用サイト}

救急医療情報 | 医療機関情報 | リンク 認証・その他

応急情報入力	病院基礎情報	直近応急情報
応急情報検索	応急情報更新履歴 (自機関)	応急情報の他府県検索
休日・夜間急病診療所一覧	救命救急センター一覧	救急医療機関一覧

お知らせ

- 2020.07.09 広域災害・救急医療情報システム (EMIS) の医療機関施設情報の入力について (依頼)
- 2020.06.10 令和2年度大阪府救急・災害医療情報システムへのご協力に対する報奨金について (依頼)
- 2019.10.30 タブレット端末からエリア災害登録の入力できない場合の対応方法
- 2019.04.26 救急告示医療機関への多言語遠隔医療通訳サービス登録案内について
- 2019.01.23 平成30年度大阪府災害医療研修受講者の推薦について (依頼) (その2)
- 2019.01.23 平成30年度大阪府災害医療研修受講者の推薦について (依頼) (その1)



大阪府救急・災害医療情報システム
{訓練用サイト}

救急医療情報 | 医療機関情報 | リンク 認証・その他

災害情報入力 (災害モード・エリア災害)	災害情報モニタ	管理メニュー
災害情報入力 (災害モード・エリア災害)	医療機関状況モニター	緊急通報用メールアドレス登録
支援依頼入力	医療機関詳細検索	
災害掲示板	災害地図の検索	

マニュアル関係

システム操作説明書

平時の画面：通常運用

救急医療（機関）情報を、消防機関と医療機関が共有している。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

ウ 大阪府救急・災害医療情報システム

表示画面例



災害運用切替時 → 災害モード

災害モードに切り替わると、赤枠の災害情報と青枠の救急情報が上下入れ替わります。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

エ 災害モード切替

大規模災害発生時：府・医療対策課が大阪府救急・災害医療情報システムを「災害モード」に切り替える。

医療機関に対し、災害医療情報の入力を要請

ポップアップ画面



メッセージを受信しました

<送信日時> 2024/09/13 15:10

0分経過

確認

<現在日時> 2024/09/13 16:12

<送信元> 大阪府広域災害・救急医療情報システム

大阪府内で震度7の地震発生

災害時には災害医療協力病院に対し、精神科単科病院を除く救急告示医療機関に設置した配付端末（大阪府救急・災害医療情報システム）からアラーム音が鳴る。

システム内に登録しているEmailアドレス、FAXにも災害モードになったことが通知される。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

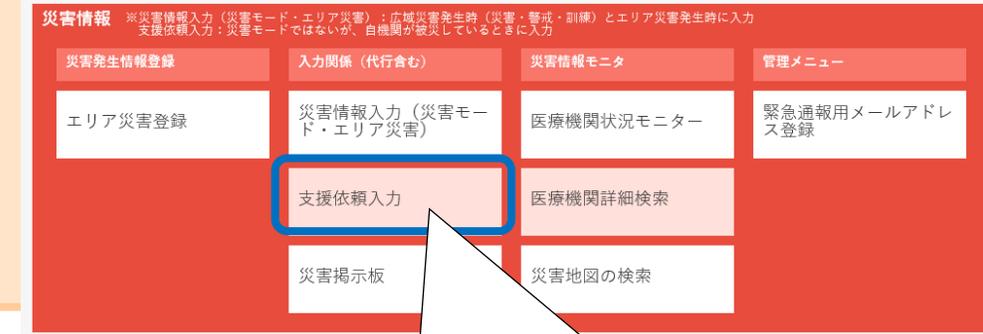
オ 災害医療情報入力項目

① 緊急時入力 ライフライン状況（使用可否等基本的な事項）

→チェックが1つでもある場合は
「SOS」を発信していることになる

まずは

緊急時入力は
「病院の安否確認」



② 詳細入力 ライフライン詳細状況、病院としての機能、医師等スタッフの状況等の詳細な状況

- ・ 施設の倒壊
- ・ ライフライン・サプライ状況
- ・ 医療機関の機能
- ・ 現在の患者数状況
- ・ 今後転院が必要な患者数
- ・ 今後受入可能な患者数
- ・ 外来受入状況及び外来受付時間
- ・ 職員数 等

「災害モード」に切り替わっていない場合でも、被害が発生し支援が必要な場合は、「支援依頼入力」から「緊急時入力」の項目を入力することができます。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

才 災害医療情報入力項目

①緊急時 入力画面

災害情報入力(災害モード・エリア災害)

種別	自然訓練	
概要	訓練	
発生日時	2020/11/11 9:00	
メッセージ	訓練	
入院病棟の危険状況		
倒壊、または倒壊の恐れ	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
火災	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
浸水	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
ライフライン・サプライ状況 代替手段でのご使用時は、供給「無」または「不足」を選択してください。		
電気の通常の供給	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有
水の通常の供給	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有
医療ガスの不足	<input type="checkbox"/> 不足	<input checked="" type="checkbox"/> 充足
医薬品・衛生資器材の不足	<input type="checkbox"/> 不足	<input checked="" type="checkbox"/> 充足
患者受診状況		
多数患者の受診	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無
職員状況		
職員の不足	<input type="checkbox"/> 不足	<input checked="" type="checkbox"/> 充足
その他支援が必要な状況		
その他 上記以外で支援が必要な理由があれば入力してください。(200文字以下)		
情報日時		
情報取得日時 上記内容(緊急時入力(発災直後情報))の状況を判断した日時を入力してください。		
2020年09月04日 09時45分 現在日時反映		
緊急連絡先		
電話番号		
Eメールアドレス		
緊急時入力	(入力済) 2020/11/11 11:11	
詳細入力	未入力	

変更 詳細入力へ

入力が終了すれば、「入力後クリック」タップ。

「変更」に切り替わるので、変更箇所がある場合は、変更後「変更」をタップ。

支援が必要な理由等を入力してください。

システム上、この欄に入力があると、支援が必要な医療機関と認識されます。

「大丈夫です」等の入力NGです。

緊急連絡先は必ず入力してください。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

才 災害医療情報入力項目

② 詳細 入力画面

一度に全てを
入力しなくても
OK。

【1】建物の危険状況

年 月 日 時 分 現在日時反映

	入院病棟	救急外来	一般外来	手術室
倒壊、または倒壊の恐れ	有 無	有 無	有 無	有 無
火災	有 無	有 無	有 無	有 無
浸水	有 無	有 無	有 無	有 無
その他 ※上記以外に倒壊、または破損の恐れのある施設の情報を入力してください。(200文字以内)	<input type="text"/>			

【2】ライフライン・サプライ状況

年 月 日 時 分 現在日時反映

電気の使用状況	不可	発電機使用中	正常	
残り(発電機使用中の場合)	半日	1日	2日以上	
水道の使用状況	枯渇	井戸使用中	貯水・給水対応中	正常
残り(貯水・給水対応中の場合)	半日	1日	2日以上	
医療ガスの使用状況	枯渇	供給の見込無し	供給の見込有り	
残り(供給の見込無しの場合)	半日	1日	2日以上	
配管破損有無	有	無		
食糧の使用状況	枯渇	備蓄で対応中	通常の供給	
残り(備蓄で対応中の場合)	半日	1日	2日以上	
医薬品の使用状況	枯渇	備蓄で対応中	通常の供給	
残り(備蓄で対応中の場合)	半日	1日	2日以上	
寝台用エレベーター稼働	不可	可		
不足している医薬品 ※具体的に不足している医薬品を入力してください。(200文字以内)	<input type="text"/>			

【3】手術・透析の状況

年 月 日 時 分 現在日時反映

手術可否	不可	可	人工透析可否	不可	可
------	----	---	--------	----	---

【4】現在の患者数状況

年 月 日 時 分 現在日時反映

発災後 受入れた患者数

重症(赤)	<input type="text"/>	人	中等症(黄)	<input type="text"/>	人
在院患者数(外来+入院)	<input type="text"/>	人	中等症(黄)	<input type="text"/>	人

【5】今後、転送が必要な患者数

年 月 日 時 分 現在日時反映

重症度別患者数

重症(赤)	<input type="text"/>	人	中等症(黄)	<input type="text"/>	人
人工呼吸	<input type="text"/>	人	酸素	<input type="text"/>	人
拒送	<input type="text"/>	人	搬送	<input type="text"/>	人

【6】今後、受け入れ可能な患者数

年 月 日 時 分 現在日時反映

重症度別患者数

重症(赤)	<input type="text"/>	人	中等症(黄)	<input type="text"/>	人
人工呼吸	<input type="text"/>	人	酸素	<input type="text"/>	人
拒送	<input type="text"/>	人	搬送	<input type="text"/>	人

【7】外来受付状況、および外来受付時間

年 月 日 時 分 現在日時反映

外来受付状況	受付不可	救急のみ	下記の通り受付
時間帯1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時間帯2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
時間帯3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【8】職員数

年 月 日 時 分 現在日時反映

出勤職員数	<input type="text"/>	人	内、DMAT隊員数	<input type="text"/>	人
出勤看護師数	<input type="text"/>	人	内、DMAT隊員数	<input type="text"/>	人
その他出勤人数	<input type="text"/>	人	内、DMAT隊員数	<input type="text"/>	人

【9】その他

年 月 日 時 分 現在日時反映

その他
※アクセス状況等、特記事項を入力してください。(200文字以内)

入力後クリック 緊急時入力へ

入力可能な項目から入力し、その都度「入力後クリック」で更新。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応 力 データの集約と対応

各医療機関から集められたデータ

支障 有無	医療 連携 ステータス	名称	緊急時入力											詳細入力											更新日時	救護所 有無
			更新日時	医師 活動 状況	入院 患者 数	手術 台の 数	電気 使用 不可	水 使用 不可	医療 用品 使用 不可	医薬品 使用 不可	治療 設備 使用 不可	患者 搬送 状況	職員 状況	その他	更新日時	実床 患者 数	入院 患者 数	中等 症 患者 数	中等 症 患者 数	重症 患者 数	人工 呼吸 機	除 震	搬 送	搬 送		
		大阪府	EXCEL出力	125%	29	42	50	42	41	37	45	19		8023	752	1557	2457	5526	523	978	198	472	692	614	0	
		危険	要支援:10 未入力:0	185%	2	4	8	4	5	6	5	2		343	79	317	195	609	123	171	38	102	155	159	0	
		病院	01/17 17:08										01/17 17:05	未										01/17 17:08		
		病院	01/17 15:31										01/17 15:28	未	0	1	0	1		2				01/17 15:31		
		病院	01/17 15:13										01/17 15:13	343	5	3	5	2	1	1	0	0	2	0	01/17 15:12	
		要支援	01/17 14:56										01/17 14:47	未	0	0	30	60	30	60	16	40	76	64	01/17 14:56	
		病院	01/17 14:38										01/17 14:37	未	20	80	20	60	5	10	3	0	0	0	01/17 14:38	
		要支援	01/17 13:44										01/17 11:08	未	3	15	0	0	0	0					01/17 13:44	
		病院	01/17 13:34										01/17 13:33	未	3	15	2	5	2	3					01/17 13:34	

集まったデータを分析し、何処に何が必要かを判断する。
医療の立て直しのため、人や物が振り分けられる。



大阪府本部内の様子

医療機関が「被災していない」という情報もとても重要です。
被災の有無にかかわらず、医療機関は必ず情報を発信してください。

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

キ 災害掲示板について

【災害掲示板】 災害時に関係機関が知り得た情報のうち、共有することが有益であると判断した内容を共有することを目的としている。

【関係機関】 大阪府、各保健所（政令市・中核市含む）、
救急告示医療機関、病院、消防機関

〈例 1〉 豪雨により〇〇川が氾濫危険水位となっている。氾濫した場合、浸水の可能性大。
その場合、電気設備が1階のため停電発生の可能性あり。

〈例 2〉 局地的な豪雨により病院の南側幹線道路が冠水のため通行止め。
救急搬送の際は北側に迂回してください。

※ 注意

災害掲示板を御利用の際は、利用規約及び運用要領を必ず御確認してください。
御利用いただいていることをもって規約に同意していただいているとみなします。
利用規約及び運用要領は、大阪府救急・災害医療情報システムの【マニュアル関係
システム操作説明書】（下記URL）にて御確認いただけます。

<https://www.mfis.pref.osaka.jp/manual/%EF%BC%92%EF%BC%8E%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E6%93%8D%E4%BD%9C%E8%AA%AC%E6%98%8E%E6%9B%B8%E3%80%90%E8%A9%B3%E7%B4%B0%E7%89%88%E3%80%91/%EF%BC%91%EF%BC%8E%E5%A4%A7%E9%98%AA%E5%BA%9C%E6%95%91%E6%80%A5%E3%83%BB%E7%81%BD%E5%AE%B3%E5%8C%BB%E7%99%82%E6%83%85%E5%A0%B1%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E9%81%8B%E7%94%A8%E8%A6%81%E9%A0%98%E7%AD%89/>

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

キ 災害掲示板について

災害掲示板は3層構造になっています。

1層目：親スレッド（大項目）

2層目：子スレッド（中項目）

3層目：各投稿

投稿する内容に適したスレッドを選択してください。

投稿には5MBまでのファイルを添付できます（Office、PDF、画像ファイルも可。）。

※ 利用規約に反していると判断した投稿は削除する場合があります。

The screenshots illustrate the three-level structure of the disaster bulletin board:

- 1層目 (Level 1):** Shows the main page with a list of parent threads. The table below represents the data shown in the screenshot.
- 2層目 (Level 2):** Shows a selected parent thread with a list of child threads. The table below represents the data shown in the screenshot.
- 3層目 (Level 3):** Shows a selected child thread with its content and attachments. The table below represents the data shown in the screenshot.

作成日時	作成者	タイトル
2020/09/30 16:27	大阪府医療対策課	【災害掲示板利用規約】
2020/09/30 16:22	大阪府医療対策課	【災害関係】全機間用
2020/09/30 16:20	大阪府医療対策課	【訓練関係】全機間用
2020/09/30 16:17	大阪府医療対策課	【訓練関係】中河内医療圏用

作成日時	タイトル	重要度
2020/09/30 16:30	利用規約及び運用要領	高

No	投稿者	登録日時	投稿内容	#
1	大阪府医療対策課	2020/09/30 16:30	利用規約と運用要領を確認の上、災害掲示板を利用してください。 大阪府救急・災害医療情報システム 掲示板利用規約(R20.9.30版).pdf 災害掲示板運用要領(R20.9.30).pdf	

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応

ク 災害情報を任意のアドレスで受信する方法



「緊急通報用メールアドレス」をクリック

アドレスを入力し、受け取る内容を選択した後、「入力」をクリックし、情報を更新してください。最大100件まで登録可能です。

- 【広域災害】**
災害運用が {警戒・災害・訓練} に切り替わった場合
- 【エリア災害】**
自院に対してエリア災害登録の発報(状況報告と受入要請)があった場合
- 【DMAT】**
DMATを要請しているエリア災害があった場合

登録メールアドレス	広域災害	エリア災害	DMAT
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

内容

(4) 広域災害時における災害医療協力病院の対応 まとめ

- 緊急時入力とは災害時における医療機関の「安否確認」機能である。
- 災害情報（緊急時入力と詳細入力）の内容を理解し、正確に入力することで迅速な支援につなげられる。
- 災害時には公助だけでなく、自助、共助も重要である。
自助と共助は耐震化の促進やBCPの作成、災害マニュアルの整備、圏域での災害拠点病院や保健所との連携等、事前に準備することが必要である。